山口市・防府市地域交通持続化共同配車モデル事業　｜日の丸タクシー株式会社

プロジェクト概要

山口市・防府市においてタクシー事業者2社が連携し、共同配車体制を構築するとともに、夜間（18時～翌4時（想定））の配車業務を外部委託または当番制で運営する体制を整備する。配車業務を起点に労務・経理などバックオフィス業務の統合も進め、省人化とコスト削減を図りながら持続可能な地域交通運営基盤の確立を目指す。

課題

- 地域ではバス路線や便数の削減が進む一方、タクシー会社は20年で8社から5社へ減少し供給不足が顕在化している。ドライバーや配車オペレーターの高齢化・人材不足が深刻であり、特に夜間はオペレーター配置が困難になっている。個社単位での運営では人件費負担も大きく、効率的な運営体制の構築が求められている。

取組内容

【共同配車組織の立上げ】

- タクシー事業者2社で共同配車体制を構築し、配車業務の効率化と需給調整を実施
- 夜間（18時～翌4時（想定））の配車業務を外部委託または当番制で運営する共同配車体制を整備
- 2026年7月から共同配車運用を開始し、省人化とコスト削減を図る
- 電話配車を中心とした既存の利用環境を維持し、高齢者利用にも配慮した運用を継続
- 配車業務の共同化を契機に、労務・経理などバックオフィス業務の一元管理を推進
- 将来的には配車アプリの導入も視野に入れ、多様な利用ニーズに対応できる運営基盤を整備

事業要件

- システム統合による業務効率の向上（共同化）

技術要件

- タクシー共同配車業務運用ガイドライン

効果

- 共同配車により複数事業者の車両を効率的に運用できるようになり、配車成立率の向上と供給不足の緩和が期待される。夜間の配車業務を共同化することでオペレーター人員の削減とコスト低減が実現する。さらにバックオフィス業務の統合により経営効率が高まり、地域交通の持続可能性向上につながる。

事業実施自治体・エリア

山口県 山口市・防府市

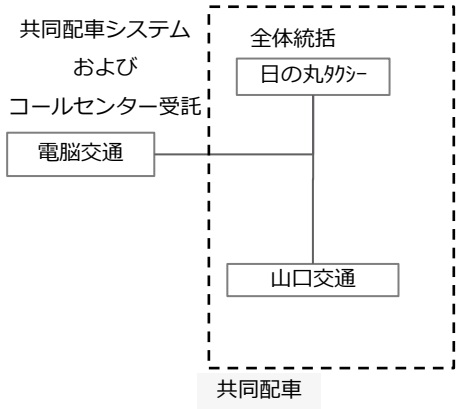
交通事業者

タクシー：日の丸タクシー、山口交通

アプリ・システム等

- ■ アプリ・システム：配車管理システム DS
- ■ データの取得方法：ー
- ■ データの活用方法：ー

座組



スケジュール

5月	要件定義
6月	共同配車室立上げ準備
7月～1月	共同配車スタート（外部委託）
2月	効果測定

Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.